

英語 B (English IV B)

担当教員名	穂本 浩美	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 4年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	精読、速読を行うことでリーディング力の向上を狙い、英語圏文化の特徴についても知識吸収を目指す。映画で使われる英語表現を学ぶことを通して語彙増強およびリスニング力の向上もはかる。	
テキスト(参考文献)	(1) 穂本浩美、濱田真由美「Roman Holiday」:マクミランランゲージハウス (2) 刀祢雅彦「システム英単語」(3年次より継続使用):駿台文庫	
履修上の注意	授業中の私語、居眠り、忘れ物、予習の不徹底、携帯電話の使用などは欠席扱いとみなす。欠席過多、試験未受験など明らかな棄権行為が原因で成績不振に陥った場合、原則として再試験や学力補充は行わない。	
科目の達成目標	・実映像を含む視覚教材を通して英語圏文化に対する理解を深める。 (学習教育目標:A-2, B-1) ・英文リーディング、リスニングを通して語学力増強および基礎的なコミュニケーションの能力養成を目指す。 (学習教育目標:E-2)	
自己学習	・重要語句を事前に調べ、教科書の予習箇所を完全に終えておくこと。 ・システム英単語の語彙を完全に自分のものとするよう音声CDも活用し学習すること。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	・定期試験(50%)、クイズ(50%) ・定期試験は教科書の内容の理解度を問う設問を提示する。 ・クイズは3年次から使用しているシステム英単語からの語彙テストで、半期で10回行なう。 ・授業参加度として1回の欠席につきマイナス1点、遅刻2回で欠席1回の扱いとする。総合評価として60%以上達成した者を合格とする。	
連絡先	akimoto@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	授業概要説明 授業で行う内容、課題、評価方法などの説明を行い、授業進度予定表(シラバスの詳細版)を配布する。
第2週	映像で学ぶ英語圏文化(1) テキストで取り扱う映画を視聴し、英米文化に触れると共に次週以降の準備を行う。
第3週	教科書 Unit 1およびクイズ(1) 重要表現「初対面の挨拶で使う表現」の確認と応用。
第4週	教科書 Unit 2およびクイズ(2) 重要表現「行き先を尋ねる表現」の確認と応用。
第5週	教科書 Unit 3およびクイズ(3) 重要表現「許可を求める表現」の確認と応用。
第6週	教科書 Unit 4およびクイズ(4) 重要表現「電話で使われる表現」の確認と応用。
第7週	レビューとクイズ(5) これまでの授業の復習を行う。
第8週	後期中間試験 後期中間試験を実施する。
第9週	後期中間試験返却および映像で学ぶ英語圏文化(2) 後期中間試験を返却し解説を加える。カリフォルニア大学アーバイン校研修留学のスライドを視聴し、プログラム概要およびアメリカ文化の考察を試みる。
第10週	教科書 Unit 5 重要表現「感謝の気持ちを伝える表現」の確認と応用。
第11週	教科書 Unit 6およびクイズ(6) 重要表現「美容院で使われる表現」の確認と応用。
第12週	教科書 Unit 7およびクイズ(7) 重要表現「好みを尋ねる表現」の確認と応用。
第13週	教科書 Unit 8およびクイズ(8) 重要表現「場所を尋ねる表現」の確認と応用。
第14週	教科書 Unit 9およびクイズ(9) 重要表現「相手を誘う表現」の確認と応用。
第15週	レビューとクイズ(10) これまでの授業の復習を行う。
期末試験	